

若手職員を対象とした学習会を実施しました

9月6日、北見市端野(たんの)町「オホーツクの森」において、網走中部森林管理署職員5名と北見市・置戸(おけど)町・佐呂間(さろま)町の職員6名の計11名に対し、現場業務に係わる基礎知識の習得を目的とした「樹木判別学習会」を実施しました。

午前中は、センター職員から、葉の形による区分や単葉・複葉などの見分けのポイントの説明を受けた後、2班に分かれて実際に森林の中に入り、遊歩道沿いに設置された43種類の樹木やツル類の特徴を観察しました。



樹木判別の基礎を学習 午前の部



説明を受ける参加者 午前の部

午後からは、試験木として用意された20本の樹木やツル類の判別に挑戦。今年は、似通っているものを増やすなど、問題の難易度を上げたこともあり、皆さん真剣な表情で解答に取り組んでいました。

参加者からのアンケートには「樹名の由来の話など初めて知ったことが多かった。」「樹皮で判別できるよう勉強していきたい。」などの感想がありました。



葉や樹皮の特徴から樹木を判別 午後の部